

伝統を守る「第100回 木島小学校運動会」が開催されました
(木島小学校)



地域の皆さんとの練習の場を設け、練習には30人ほど集まっていた子どもたちも「生演奏で踊れるよ」と、はりきって練習しました。さらに、児童

木島小学校の運動会が第100回を迎えるにあたり、昨年度から「地域の皆さんにも参加してもらえ運動会にしよう」「伝統ある『木島民謡』を皆さんと一緒に踊ろう」という機運が盛り上がりました。「木島民謡」は木島地区に長く親しまれた踊りですが、運動会以外には踊られる機会がないとのこと。それを今まで以上に学校が大切にしていこうとは日頃からお世話になっている地域の皆さまへの恩返しになると考え、木島民謡に地域の皆さんにも入っていただくことと、歌と音楽を「生演奏で」という願いを100回の記念に込めました。



PTA役員のご尽力で、地域から歌・笛や太鼓の皆さんに加わっていただき、生演奏の目処が立ちました。また、地域の皆さんとの練習の場を設け、練習には30人ほど集まっていた子どもたちも「生演奏で踊れるよ」と、はりきって練習しました。さらに、児童

みんなのアイドル
(いずみだいい保育園)



いずみだいい保育園には、かわいいアイドルがいます。子どもたちはもちろんですが、その子どもたちのアイドル「メダカの兄弟」です。保育園の園舎から4匹が保育園の仲間になりました。そのメダカたちが卵を産み、現在では13匹の大家族になりました。朝どのクラスからも「メダカ〜の学校は〜♪」と、歌声が聞こえてきます。そしてまた、お腹の大きな一匹メダカは何匹家族になっっているかな？

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果について

飯山市と全国の平均正答率比較

学校別	教科	単位 (%)	
		全国	飯山市
小学校	国語A	70.0	65.2
	国語B	65.4	63.9
	算数A	75.2	73.0
	算数B	45.0	41.4
中学校	理科	60.8	57.7
	国語A	75.8	75.7
	国語B	65.8	65.1
	数学A	64.4	65.7
	数学B	41.6	42.4
	理科	53.0	53.1

小学6年生と中学3年生を対象に4月21日に行った本調査の結果がまとまりました。全国で約230万人の児童生徒が、飯山市では小学生184名、中学生198名が参加しました。小学校については、国語A・B、算数A・Bともに全国平均を下回りました。また、3年ぶりに実施された理科も全国平均を下回り、課題の多い結果となりました。中学校については、国語A・Bがわずかに全国平均を下回りましたが、数学Bでは初めて全国平均を上回るなど、数学及び理科では良好な結果となりました。各小中学校および教育委員会では、結果をくわしく分析し、さらなる学力の定着・向上を目指して取り組んでまいります。

いきいき男女共同参画

第3次飯山市男女共同参画計画「いいやま男女共同参画プラン21」では、男女共同参画社会の実現に向け、3つの基本目標を定めています。基本目標1「男女平等を進めるための意識づくり」の概要は次のとおりです。各分野において、市民の皆さんと市の協働の取り組みを進めていきましょう。

基本目標1 男女平等を進めるための意識づくり (課題解決のために ○…市民として □…行政として)

1 意識啓発と慣習の見直し

①意識啓発の促進

- 家庭生活において互いに自立し、家事・育児・介護等に関しても家族みんなで協力し合ひましょう。「男だから、女だから」という固定的な考え方にとらわれることなく、お互いを認め合ひましょう。
- 講演会・学習会の開催や、広報による意識啓発と情報提供に努めます。家庭問題等に関する相談窓口の充実を図ります。

②家庭や地域における慣習・しきたりを見直し

- 地域において、伝統行事や催し物などでの男女の役割の見直しや、女性も積極的に発言する意識を持ちましょう。
- 飯山市人権同和・男女共同参画地域推進員や飯山市男女共同参画コミュニケーターと連携し、学習会等での啓発促進を図ります。女性と市長との懇談会等の開催により、行政に対する女性の声を取り上げていきます。

2 人権尊重と男女平等の教育・学習

①家庭・地域における教育・学習機会の充実

- 家庭や地域において、人と命を大切にすることを育み、男女平等やお互いの人権を尊重し合う家庭づくり地域づくりを進めましょう。
- 公民館等との連携により地区・集落単位の学習会を積極的に開催し、意識の向上を図ります。

②保育園・幼稚園・学校における教育の推進

- 「男だから、女だから」という意識を持たないよう、子育てに関するかわりを見直しましょう。
- 幼稚園・保育園および小中・高等学校での一貫した人権教育を推進します。

3 公衆に表示する情報における男女の人権の尊重

①「男だから、女だから」という意識にとらわれない表現と人権尊重の推進

- テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアにおける表現等に対して、男女平等の視点から固定的な表現がないか常に意識しましょう。
- 市の広報出版物等の表現方法について、固定的性別役割分担等の偏った表現や内容にならないよう意識の解消を目指します。

4 国際社会の一員としての男女共同参画意識の醸成

①国際社会の動向を踏まえた取組

- 国際社会に関心を持ち、社会情勢や多様な文化への理解を深めましょう。
- 国際的な動向などの情報収集や提供、講演会等の開催により国際感覚の醸成を推進します。



「めいさつ・声かけ」運動を実施します
市内小学校・中学校・高等学校 11月11日(水)

内閣府では、子ども・若者育成支援に関する国民運動の一層の充実や定着を図ることを目的として、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、青少年健全育成のための諸事業、諸活動を集中的に実施しています。当市においても11月を強調月間として、青少年育成補導員、各地区子ども会育成会正副会長、各校PTA正副会長、教員等と協力し、「伸びよう伸ばそう青少年！」を合言葉に、「あいさつ・声かけ運動」「信州あいさつ運動の日」にあわせ11日(水)に行います。なお、今年度は、運動の趣旨に賛同してくださった飯山ライオンズクラブの皆さまにも



ご参加いただくことになりました。「地域の子どもは地域で守る」ための第一歩は、お互いが気軽にあいさつを交わすことのできる環境づくりです。私たち大人からの「おはよう」「おかえり」のあいさつや、ちよつとした目配りが、子どもの非行防止や健全育成につながります。子どもたちを温かく見守り、励まし、大人と子どもの対話を深めていただくよう、皆さんのご協力をお願いいたします。